

2021~22年度
国際ロータリーのテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1583 / 2021. 9. 24

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

東京赤坂ロータリークラブ週報

Weekly Report

2021~2022年度クラブテーマ

会長 河邊 幸夫

「みんなで親睦・奉仕 楽しく規律ある例会」

本日の例会：2021年9月24日 通算1609回 本年度 第10回

卓話：「過剰流動性相場の行方」 日興リサーチセンター 代表取締役社長 末永 雅春 氏

● 第1608回 例会報告／2021年9月17日

出席報告：会員 51名 出席 30名(内 ZOOM 6名)

ゲスト：小林弘裕(卓話)

ビジター：クライ・エルヴェ 計2名(敬称略)

卓話：「中東の思い出、イラン、etc」

前ニュージーランド大使 小林 弘裕 氏



卓話者：穂苅副会長

会長報告：

米山奨学会より、米山奨学生イミンへ10月からの奨学生合格証と、9月までの終了証が、カウンセラーの吉田会員へカウンセラー委託状と感謝状が届いております。



9月17日 19件 38,000円 累計 283,000円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

河邊幸夫/穂苅裕久/熊本誠司/入沢頼二/岩上義明/コ
ンシニ/土屋東一/小林博茂/吉田用親/吉岡琢磨/鈴木
貞史/長谷川毅/藤井万博/森本勝好/谷口友保/関陽一
/CANELA Christian/小川大介/大城正裕



今後 の予定	日付	開始時間 終了時間	場所	事項	内 容
	10月1日	12:30 13:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話： 「米山月間 米山記念奨学会について(仮)」 米山記念奨学会委員長 宮崎 陽一郎 氏
	10月8日	12:30 13:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：「JAL 経営破綻から再生、そしてコロナ 禍危機から現場で見えたもの」 JAL 客室乗務員統括室長 大村 美保 氏
	10月15日	12:30 13:30	B1F グローリー ⁺ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：前田記念会石神井公園じんクリニック 看護師長 池田 志帆子 氏
	10月22日	12:30 13:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：防災コンサルタント 釜石 徹 氏

2021年9月9日例会 ガバナー公式訪問

「奉仕の心でつながろう地域と世界と」 RI 第2750地区 2021-22年度ガバナー 三浦 真一 氏

ロータリークラブでは毎年、国際協議会が開催されます。世界中からガバナーがご夫婦そろって集まるのですが、今年度はコロナ禍のため、ロータリーが始まって以来初めてZoomによるオンライン開催となりました。

国際協議会に出席して

その代わり日程が少し長くなって、例年は8日間程度のところ、今年度は2月1~11日の11日間開催となりました。当然、米国時間での開催なので、本会議が日本時間の午後11時からだったり、分科会が午前3時から始まったりするのですが、全てに出席しないと修了証を頂けないので、私も眠い目をこすりながらの参加となりました。驚いたのは、夫人用のセミナーが5講座ほどあったことです。私の妻もそのセミナーに出席していたので、夫婦別々の部屋にこもってそれぞれ研修を受けるという状態でした。

内容は、ロータリーの成長や奉仕の成功事例、ロータリー財団や効果的なリーダーシップについてなど多岐にわたり、いろいろな方がお話しされました。当地区からは辰野RI理事がお話しされましたし、水野パストガバナーは研修リーダーとしてわれわれの1週間も前から研修を受けて国際協議会に臨んでおられました。それだけ皆さん方、力を入れて取り組んでいらっしゃったわけです。

分科会には日本からローターアクトの方も何人か参加しておられ、そういう中でロータリーのビジョン声明や戦略的優先事項、あるいは中核的価値観についていろいろディスカッションしながら進められていました。中でも特筆すべきは、残念ながらお亡くなりになった辰野理事の奥さまが英語でスピーチされたことでした。

RI会長の言葉

本年度のRI会長はシェカール・メータさんという方で、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」というRIテーマを掲げられています。所属はインドのカルカッタ・マハナガルRCです。

そしてロゴマークは、われわれの住むかけがえのない地球を、奉仕という大きな手で支えているデザインとなっています。おかげさまで今年は世界中から好評を頂いていて、皆さま方にもバッジを着けていただいていること思います。

メータ会長は、ロータリーの原点である「超我の奉仕」という標語に大変感銘を受け、人を思いやって分かち合うことの大切さに触発されて活動を続けてきましたとおっしゃっていました。奉仕とは自分よりも他の人のことを先に考えることであり、他者のために何をしているかということを常に問い合わせながらロータリー活動に励んできたそうです。

そしてある日、自分が単なるロータリー会員から真のロータリアンになれたと思える瞬間があったとおっしゃっていました。私はまだその境地には達しておりませんが、そこまで一生懸命活動すればそういう気持ちになれるのかもしれません。そういう素晴らしい方が会長に就任されたということです。

そして、奉仕にはロータリアンのDNAがあり、他者のために生き、世話をすることで誰かの人生を豊かにすることは自分の人生の最高の生き方であるとも説かれています。AINシュタインの「誰かのために生きてこそ人生には価値がある」という言葉に深く感銘を受けたそうで、「奉仕は結果として自分の人生をも豊かにしていく」と強調しておられました。

RIのテーマ

そして、2021-22年度のテーマとして掲げておられるのが、まずロータリー奉仕デー(9月)をクラブあるいはその集合体でぜひ実施してほしいということでした。

会員増強については、現在の120万人を来年6月末までに130万人にしたいとおっしゃっていました。10万人増やすのは大変なことですが、果敢にチャレンジすることがRI会長としての務めだとおっしゃっています。130万人にすることが新たなロータリーの姿を生み出していくもとなるともおっしゃっているので、皆さんも一人一人がロータリーのブランドの大天使として活動していただきたいと思います。

ボリオ撲滅については、皆さんにも委員会で素晴らしい事業を作っていました。東京近郊を走る電車の中吊り広告を10月18~24日の間、エンドボリオでジャックし、活動をPRする試みです。最終日の24日には東京駅丸の内口から有楽町までウォークラリーを行う予定ですので、皆さんもぜひご参加ください。

ボリオは残念ながら今年に入って感染者が2人出ており、根絶はまだ達成していません。昨年、アフリカで根絶宣言がされました。しかし、残念ながらロータリーの功績は全く報道されていないので、今年度はロータリーの活動のPRもしていかなければならぬと考えています。

女子のエンパワーメントへの取り組みも進めていきます。世界ではまだ女性が虐げられていたり、誘拐されたり、学校に行けずに家事を強制させられたりしている例が数多く報告されています。それらを解決する糸口をロータリーとして見つけていきたいと会長はおっしゃっています。100周年を迎えた日本のロータリークラブとしては、国内での奉仕活動

とともに世界に目を向けた奉仕活動の両面を展開することが、新たな100年に向けてのクラブのあるべき姿なのだろうと思います。1クラブだけでなく、海外のクラブともジョイントしながら活動を進めていくこともこれからは必要でしょう。

そしてメータ会長は本年度、七つの重点分野に焦点を当てた七つの会議を世界各地で開催する予定です。その第1回目が韓国・慶州で行われ、環境問題を取り上げることになっています。私も参加するのですが、残念ながらこちらもオンラインでの開催ですので、皆さんもぜひご参加いただけたとあります。

また、RIでは昨年度、ポール・ハリス・ソサエティ(PHS)の会合を開催できませんでしたが、今年は前年度PHSになられた皆さんの会合をこれから開いていただけることですので、楽しみにしております。こちらも皆さんにご参加いただきたいと思います。

地区の強調事項

地区からお願いしていることは、第1に、活動が単年度で完結する時代が終わりを迎えるので、クラブ内に戦略委員会を設置し、戦略計画を練っていただきたいということです。そして、3年程度のサイクルでクラブの在り方を検討しながら活動計画を組み立てていってほしいと思います。また、奉仕デーの実施も、コロナ禍に配慮しながらぜひお願いしたいと思います。

それから、2024年6月末までに地区の会員数を5000人にしようという計画を立てています。コロナ禍で会員増強が難しいという話は各クラブから頂いていますが、目標に果敢に向かっていくことがロータリーのあるべき姿だろうと思います。現在は4600名弱ですから、1年で170~180人ずつ増えれば達成可能ですので、お力添えをお願いしたいと思います。

女性会員と若い会員の増強にも努めます。最近は当クラブでも若い会員の方が増えてきました。この機運を切らさずに皆さんの方を合わせて増強をお願いしたいと思います。

また、公共イメージの向上も図っていきます。ロータリーの活動を一般の方々にも認知していただくためには不可欠なことですので、各クラブのお力添えをお願いします。のために、地区でも精いっぱい頑張って世界ポリオデーのイベントなどを実施していきたいと考えています。

それから、ロータリー財団への支援、米山記念奨学会への支援を毎年お願いしておりますが、2750地区はトップでなければなりません。なぜなら当地区は日本の中でもリーディング地区、常に先頭を走る地区だからです。こうしたことをぜひ認識していただいた上で、素晴らしいロータリー活動を進めていただきたいと思っています。

お願いばかりで恐縮ですが、方向性を示すことが地区の役割ですので、今日述べたような方向性を示させていただきました。皆さま方のますますのお力添えを頂くとともに、お互いに心を一つにして活動できるようなロータリーの在り方を今後も推し進めたいと思っていますので、ご協力を切にお願い申し上げます。

